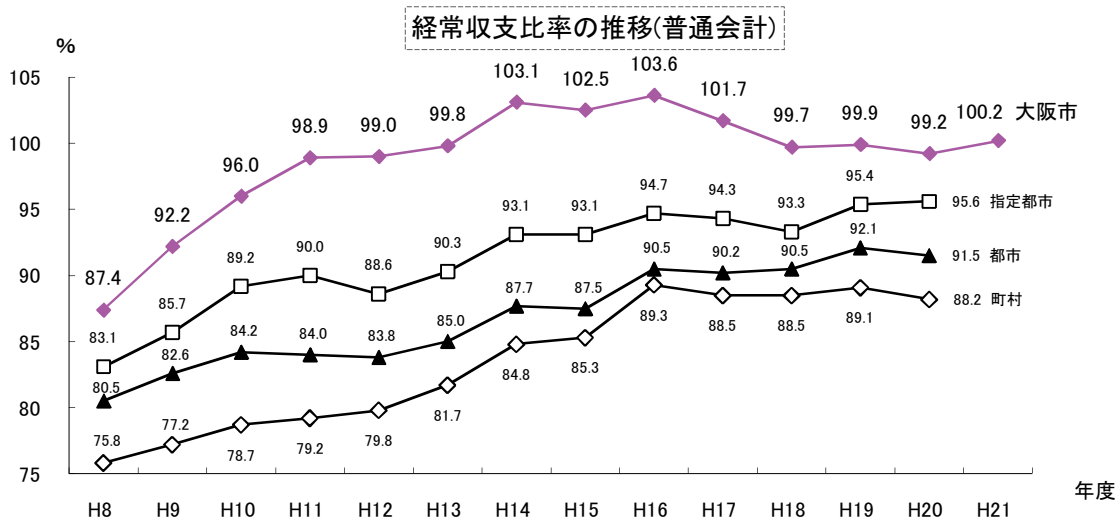


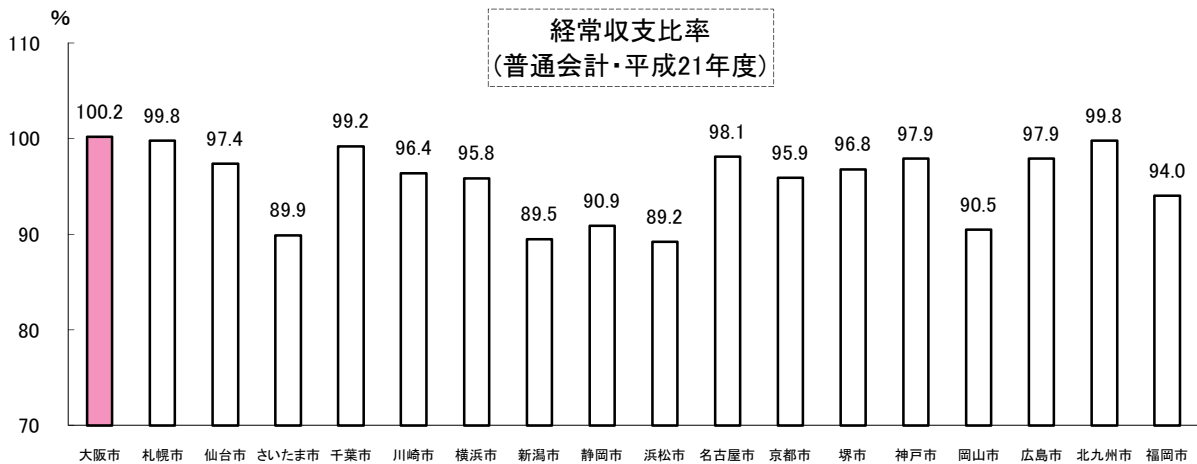
②経常収支比率

- 経常収支比率とは、地方税、地方交付税、譲与税・交付金などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数で、財政構造の硬直度を表すものさしとされているものです。
- 経常収支比率が高いということは、義務的経費以外に使える財源に余裕がないことを示し、財政構造の弾力性が低いこととなります。
- 本市においても、市政改革に取り組み、人件費をはじめとした歳出削減に努めたものの、市税収入が大幅に減少するなか扶助費が増加している状況であり、21年度の経常収支比率は、前年度に比べて1.0ポイント悪化し、100.2%となっています。



資料：平成22年度総務省地方財政白書〔平成20年度の地方財政〕

- 本市は、扶助費が高いため、経常収支比率は指定都市のなかでも最も高い数値となっています。



資料：総務省HP「平成21年度地方公共団体の主要財政指標一覧」